

あなたの暮らしのそばに

広報

みはら

笑顔と元気 被災地へ

おおつち★みはらスマイルキッズ

旅す
笑顔
実施期

主催：JCI
共催：社団
後援：三原

今年のやっさ祭りには、東日本大震災で被災した岩手県大槌町の子どもたちも参加。「おおつち★みはらスマイルキッズ」チームとして、やっさ踊りにも出場しました。さまざまな形で復興支援の取り組みが行われています（関連2～4ページ）

特集 つなごう被災地との絆 広がる地域防災

- 市政フラッシュ……………10
- 東部共同調理場が業務を開始ほか…11
- イベント情報……………14
- 写真で振り返る三原やっさ祭り……16

9

平成24(2012)年
第90号



▲写真上:大和町特産の桃を手に、笑顔がこぼれる左から潮 真由子さん、田中 蘭さん、田中 凜さん、潮 智香子さん 写真下:ホームステイ先の神社で、神拝詞を読むようす



第1部

つなごう被災地との絆
三原で最高の夏の思い出を
— 笑顔デザインプロジェクト —

やっさ祭り初日の先月10日17時48分、岩手県大槌町の小学4、6年生14人に乗せた新幹線が、JR三原駅に着きました。3泊4日の日程で、三原でホームステイや、やっさ踊りへの参加、花火の観覧などを行います。大きな荷物を背負った子どもたちが、迎える家族との対面を果たしました。

三原青年会議所(以下、「三原JC」)が、大槌町でがれきの撤去活動などを行い、現地の小学生との交流が生まれたことがきっかけで企画された今回の事業。三原で最高の夏の思い出を作ってほしいとの思いが込められています。

市内12カ所でホームステイ

自身も岩手県出身で、ホームステイを受け入れた、大和町の潮よし子さんは、「私の妹も岩手県山田町で被災しました。被災地では、遊びたくても遊べない状況にあると思うので、子どもたちに伸び伸びとした遊び場を提供することができれば」と受け入れに至った経緯などを話してくれました。

姉妹で参加した田中凜さん(12)、蘭



▲大きな荷物を背負った被災地の子どもたちがJR三原駅に到着

▲笑顔デザインプロジェクトに参加した子どもたち

●特集の内容

- 第1部(2~4ページ) 今年のやっさ祭りには、東日本大震災で被災した岩手県大槌町の小学生も参加しました。三原青年会議所が、「最高の夏の思い出を作ってほしい」との思いを込めて企画したこの事業。被災地へ派遣している市職員の活動レポートと合わせ、復興を支援する取り組みを紹介しています。
- 第2部(5~7ページ) 県が取り組みを始めた、自主防災組織活性化プロジェクトのモデル地区に指定されている本町地区の活動など、各地域で展開されている防災活動を紹介しています。
- 第3・4部(8・9ページ) これからの時期に警戒が必要な台風に関する情報に加え、災害協定や避難所に関する事など、市がこれまでに進めてきた防災対策を掲載しています。

発生から1年半を迎える東日本大震災。現在もさまざまな形で、復興を支援する取り組みが行われています。また、市内では、自主防災組織や地域内での防災活動などが展開されています。

今月号では、こうした取り組みのほか、これからの時期に注意が必要な台風に関する情報や、市がこれまでに進めてきた防災対策について、全4部構成で特集します。



つなごう被災地との絆
広がる地域防災

特集



▲防災塾で、災害に対する地域の強みや弱みを出し合う会員の皆さん

第2部

最初に松井教授が、「災害は必ず起こる。そのときに、地域の人たちが助け合える仕組みをいかにして作るかが自主防災組織に求められている」と語り掛けた。

その後、参加者が二つのグループに分かれ、それぞれの地域の災害に対する「強み」と「弱み」を出し合いました。グループからは、地盤が固く地域の結びつきが強いという強みの一方、古い

地域で助け合える仕組み構築へ

今年度、県から自主防災組織活性化プロジェクトのモデル地区として指定を受けた本町連合町内会自主防災委員会（以下、「防災会」）。県の主催により、6月から8月までに3回、防災塾と題した勉強会が行われました。

6月29日に開催された第1回目には、防災会の関係者や消防団員、民生委員など約30人が参加。広島経済大学の松井一洋教授と県内の防災リーダー4人がアドバイザーとして出席しました。

県からモデル地区指定

「自主防災組織を立ち上げたものどのように活動すればよいのか分からない」といった声を受け、今年度から県が取り組みを始めた事業。初年度は、本市と廿日市市内の2組織をモデル地区に指定し、専門家が1年間かけて、実践的な指導や助言を行う。モデル地区を変えながら3年間実施した後、県がマニュアルを作成する予定。

広がる地域防災
課題を共有し活動を活性化
（自主防災組織活性化プロジェクト）
本町連合町内会自主防災委員会

自主防災組織活性化プロジェクトとは

「自主防災組織を立ち上げたものどのように活動すればよいのか分からない」といった声を受け、今年度から県が取り組みを始めた事業。初年度は、本市と廿日市市内の2組織をモデル地区に指定し、専門家が1年間かけて、実践的な指導や助言を行う。モデル地区を変えながら3年間実施した後、県がマニュアルを作成する予定。

家屋や高齢者が多いこと、道路が狭いこと、土砂崩れが懸念される箇所があることなどが弱みとして挙げられました。

第2回目では、市内外の自主防災組織の取り組みを学ぶとともに、本町地区で想定される災害の特性として、急傾斜地の崩壊や土石流などの恐れがあることについて説明がありました。

第3回目では、地域で抱える弱み（課題）を克服するために進めていくべき防災活動を話し合うとともに、松井教授から、活動を進めていく上で必要となってくるリーダーシップや率先行動などに関する講話が行われました。

今後は、地域の課題解決に結びつくような防災訓練メニューの検討や訓練の実施などが予定されています。

みなとオアシスフェスティバルin三原で被災地の特産品を販売

—三原JC、三原市役所ボランティアサークル できるんじゃけえ!—



▲被災地の特産品を販売する三原JCのメンバーら

7月28日・29日に開催した、みなとオアシスフェスティバルin三原で、被災地の特産品の販売ブースが設けられました。

三原JCは、福島県いわき市のトマトやかまぼこ、同県北会津町の桃やさくらんぼジャム、同県南相馬市の岩のり、宮城県仙台市のずんだ餅などを販売しました。

また、三原市役所ボランティアサークルでできるんじゃけえ!は、宮城県名取市の笹かまぼこ、真ガレイの閑上干、つぶ貝の缶詰や同県岩沼市の仮設住宅の皆さんが製作した手作り商品などを販売しました。

いずれも売上金は、義援金として送金されます。

被災地の今

—市職員の活動レポート—

市では、今年4月から1年間の予定で、宮城県名取市へ職員2人を派遣しています。ここでは、被災地の今の状況や、職員が現地で携わっている業務について報告します。

集団移転事業を担当

名取市復興まちづくり課
主事 小田 顕寛



私は現在、宮城県名取市の復興まちづくり課で、集団移転事業を担当しています。集団移転事業とは、津波被害を受けた人が津波の来ない安全な内陸部に移転するという事業です。早ければ、平成26年度の初めには住宅再建が開始できるスケジュールです。

しかし、被災者が住宅再建を行うに当たっては大きな課題もあります。今、被災者の多くは、津波で家を流されたにも関わらず、住宅ローンが残っているため、ローンを払い続けなければならないという問題を抱えています。金融機関などもローンの支払い猶予などを行っていますが、ローンがなくなる訳ではないため、根本的な解決には至っていません。

震災が発生してから約1年半が過ぎましたが、復興はまだまだ始まったばかりです。現地を見るとより一層その思いが強くなります。少しでも復興の手助けができるように頑張ります。



▲集団移転事業説明会のようす

土地区画整理事業を担当

名取市復興まちづくり課
技術主査 小坂家 修



私は現在、被害を受けた土地の区画を整理する事業を担当しています。

津波被害を受けた土地の再建ということで、恐怖心から反対する人や、心理的に計画を受け入れることができない人たちが多いのが実情です。

今後の方針としては、住民の皆さんに土地区画整理事業の正確な情報を提供し、事業を正しく理解してもらい、今年度末ごろの事業着手に向け業務を行なっていく予定です。

現地では、膨大かつ多様な事業を行わなければなりません。幅広い職種の人員による、安定的で長期的な支援が引き続き必要です。



▲個別面談で事業を説明



▲宅地をかさ上げる現地説明会



▲写真上:小・中学生が全員無事だった岩手県釜石市の事例など、災害時の話を真剣に聞く子どもたち
写真左下:竹と毛布で作成した簡易担架で搬送訓練をするようす 写真右下:行事には先生も参加



▲災害救助用の炊飯袋で蒸しパン作りをする生徒たち

5 ページ関連

インタビュー

他の地域へも広がっていく
モデル作り上げたい



本町連合町内会
自主防災委員会
委員長
福島偉人 さん
(本町三丁目)

県が主催するプロジェクトでは、①住民の意識の向上、②防災リーダーの育成、③組織強化の3点に取り組みたいと思っています。

3回開催した防災塾を通じて、自分たちが住んでいる地域の強みや弱みを住民間で共有できたことはとても良かったと感じています。地域が弱み(課題)として抱えている部分を解消できるよう、今後は実地訓練なども計画しています。

県のプロジェクトとしての事業をこなし、市内の他の地域にも防災活動が広がっていくようなモデルを作り上げたいです。

活動の活発化を
図るために



自主防災組織活性化プロジェクトを
主催する
広島県消防保安課
藤井修二 課長

昨年、県内の全自主防災組織 2,700 団体を対象にアンケート調査を行いました。その結果、「活動が進んでいない」と回答した団体が全体の4割を占めました。

その要因として、①活動を引っ張っていく人材がない、②どのように活動すればよいのか分からない、③参加者が集まらないなどといった意見が出されました。

この対策として、ひろしま防災リーダーをはじめとした専門家チームが1年間にわたって、直接、実践的な指導や助言を行い、自主防災組織の活性化を図るプロジェクトを立ち上げました。

今年度は、三原市と廿日市市をモデル地区に指定し、事業を展開していきます。来年度以降も地区を変えて実施し、地域特性に応じたノウハウをまとめたマニュアルを策定する予定としています。

防災の要素を取り入れたクラブ活動
— 尾三地区家庭クラブ連盟研修会 —

先月2日、三原東高等学校で、東日本震災の被災地でボランティア経験のある、みはらまちづくり代表の川和子さんを講師に、災害対策の実践指導などを学ぶ研修会が行われました。三原市、尾道市、世羅町の県立高校に通う生徒のうち、家庭クラブに所属する19人が参加しました。

仮設住宅の運営支援などの活動について、写真を交えた報告がありました。次に、参加者の多くが女子生徒だったことを受け、避難リュックを自分の気に入った物にする準備も楽しいことや、女子が必要とする避難用具など、災害への心構えの話がありました。その後、災害救助用の炊飯袋を使った蒸しパン作りや、ペットボトルを活用した食器作りなどを体験しました。

地域で進める防災教育

— 中之町小学校防災お泊り会 —

先月4日・5日、中之町小学校で防災に関する行事を行いながら一夜を過ごす防災お泊り会が行われ、同小に通う1〜6年生のうち108人が参加しました。

同小PTA会長の松原祐司さんは、「不慣れな中で仲間たちと過ごすことで、相手を思いやる気持ちを身に付けてほしい」と、今回の行事を通じて子どもたちに体得してほしいことを語りました。

行事は、日ごろ学校行事に参加することが難しい父親などで構成する「おやじの会」により企画され、レクリエーションや非常食を用いた食事、肝試しなど、防災に遊びの要素を織り交ぜ、楽しみながら学べる内容となりました。

おやじの会会長の吉田正治さんは、「防災の意識を感じてくれたと思います。しかし、いざというとき子どもたちは、どう行動すればよいのかということについてはこれからといった状況です。次回以降、町内会と連携しながら訓練を重ねていきたいです」と話しました。

聞き・学び・体験

レクリエーションでは、東日本大震災が発生したときの子どもたちの行動については、みはらまちづくり代表の川和子さんが講師を務め、小・中学生がほぼ全員無事だった岩手県釜石市の例に触れながら、学校の授業から災害について考えることの必要性や、家族の居場所を確認しておくこと、普段から災害が起きたときのことを考えることが大切と訴えました。

東日本大震災が発生したときの子どもたちの行動については、みはらまちづくり代表の川和子さんが講師を務め、小・中学生がほぼ全員無事だった岩手県釜石市の例に触れながら、学校の授業から災害について考えることの必要性や、家族の居場所を確認しておくこと、普段から災害が起きたときのことを考えることが大切と訴えました。



▲「助けて〜!」、「火事だ〜!」などと叫び、声の大きさを競うレクリエーション

お問い合わせ先



▲瀬戸内カートンと段ボール製品の支援協力協定を締結



▲段ボールで作ったベッドの説明を受ける五藤市長

④瀬戸内カートンと段ボール製品などの支援協力協定
市からの要請に基づき、災害時に避難所での生活に必要な段ボール製品(段ボールベッド、段ボールシー...



▲沿岸部の公共施設や都市公園に設置した標高表示板

避難所などへの標高表示
津波や高潮などによる浸水から避難する目安として、三原・本郷地域内の避難所(主に体育館などに設置している看板に、標高の表示を追加しました。

ト、段ボールケースなどの物資を、優先的に調達することができるように定めているものです。
東日本大震災時にも、同業者から2,800セットの段ボール製品が提供されています。



▲平成16年の台風16号・18号の通過経路



- ① 田畑や用水路の見回りは絶対にしない
② 海岸の見回りは絶対にしない
③ 屋外での作業は絶対にしない

台風が接近してからの注意事項

- ① 物干し竿や植木鉢などは飛ばされるように室内に入れる
② 雨どいに土や枯れ葉などが詰まって排水が悪くなっているか点検する
③ 速やかに避難できるように避難場所を確認し、持ち出し品を準備しておく
④ 浸水の恐れがある場所に土のうを積んでおく

台風が接近する前までにご注意
台風は、大雨や暴風、高潮などを伴い、大きな被害を引き起こします。多くの場合、テレビや新聞、インターネットなどで、その規模や進路の行方などを確認することができ、事前の準備が可能です。

第3部 防災学習コーナー

第4部 その他の市の取り組み

お知らせ

メール配信システムの訓練を行います

国が緊急情報の伝達訓練を実施することに伴い、次のとおりメール配信システムによる訓練を実施します。
とき 9月12日(水)10時ごろ
対象 三原市メール配信システムへの登録者全員
※メール種別により、複数登録している人には、重複して配信することがあります。
内容 右の内容のメールを一斉に送信

配信する内容
件名:試験配信
内容:三原市からの試験配信です。
事前音声書換
2012年9月12日
これは、試験放送です。
対象地域:全土区域

この機会にぜひ、三原市メール配信システムへの登録を!

三原市メール配信システムに登録することで、災害情報、防犯情報、火災情報をメールで受け取ることができます。
携帯電話やパソコンから直接登録・解除ができます。次の登録方法に沿って手続きをしてください。

Registration steps: 1. Email sending, 2. Address selection, 3. Information selection, 4. Registration completion. Includes QR code and QR code.

※登録は無料ですが、メールの送受信やインターネットの画面表示に伴う通信料などは登録者の負担になります。

②社会福祉施設を福祉避難所に指定
災害発生時に、学校や公民館などの避難所では生活することが困難な被災者(以下、「要援護者」)の避難先として、市内に31ある社会福祉施設を「福祉避難所」に指定しました。
市の要請に基づき、要援護者の皆さんを福祉避難所で受け入れます。



▲イオン三原店、フジグラン三原と津波避難の覚書を締結しました

③備後地域で災害協定
広島県・岡山県にまたがる備後地域の8つの市町で、災害時における生活物資や救助活動などを互いに補完し合う相互応援協定を結びました。
8つの市町は次のとおりです。
【広島県】
福山市、尾道市、三原市、府中市、世羅町、神石高原町
【岡山県】
笠岡市、井原市



▲7つの社会福祉法人の31施設を福祉避難所に指定しました

災害協定に関する取り組み
ここでは、市がこれまでに行ってきた災害への備えについて紹介します。

みなとオアシス三原が正式登録

平成21年度に仮登録されていた、みなとオアシス三原が正式登録されました。

7月28日・29日の二日間行われた、みなとオアシスフェスティバルin三原の開会式で、国土交通省中国地方整備局の西植副局長から、五藤市長に登録証が手渡されました。

みなとオアシスは、国土交通省の制度で全国に65カ所あり、港湾施設を活用し、市民参加型による港のにぎわいづくりを進めるものです。

みなとオアシス三原では昨年、Sea Levelメ全国大会in三原を開催し、日本港湾協会企画賞を受賞しました。



▲登録証を披露する中国地方整備局の西植副局長(右)と五藤市長

通学路の緊急合同点検を実施

今年4月以来、登下校中の児童たちの列に車が突入し、死傷者が発生するという痛ましい事故が相次ぎました。これを受け、先月、市内小学校の通学路について、交通安全の視点から緊急点検を実施しました。

点検は、30小学校から報告のあった危険と思われる箇所146カ所のうち、緊急度を考慮した111カ所について、学校・警察、地域の皆さんや市職員の合同で行いました。

通学路を歩き、歩道や信号機の必要性、消えかかった横断歩道などを確認しました。

これらの箇所について、対応可能なものは、すぐに対策を講じるとともに、国や県、警察などへの協議も行います。今後とも、子どもたちが安心して安全に登下校できる環境整備に取り組みます。

広報みはらをスーパー・コンビニエンスストアで配布

先月から、広報みはらを市内のスーパーやコンビニエンスストアで配布しています。配布している店舗は次のとおりです。

スーパー	
①	イオン三原店
②	オンリーワン三原店
③	業務用食品スーパージョイ
④	にぎわい市場
⑤	ニチエー江南店
⑥	ニチエー中之町店
⑦	ニチエー沼田東店
⑧	ニチエー宮浦店
⑨	フジグラン三原
⑩	フレスタ三原店
⑪	三原スーパー パルディ駅前店
⑫	三原スーパー パルディ西町店
⑬	三原スーパー パルディ明神店
⑭	三原スーパー パルディ本郷店
⑮	ユアーズ三原店
⑯	マックスバリュ本郷店
⑰	わきストアー
⑱	フレッシュライフ・ハマ
⑲	三谷屋大和店

コンビニエンスストア	
①	ポプラ三原沼田東店
②	ポプラ三原本郷店
③	ポプラ御調久井店
④	ローソン三原糸崎店
⑤	ローソン三原駅前店
⑥	ローソン三原古浜店
⑦	ローソン三原須波店
⑧	ローソン三原皆実店
⑨	ローソン三原宮浦六丁目店
⑩	ローソン三原明神店
⑪	Yショップカネユキ



広報みはらは、新聞折り込みのほか、市庁舎や各支所、各公共施設などで配布しています。また、希望者へは直接送付しています。送付を希望する人は、総務課まで連絡をお願いします。

総務課
☎0848・67・6007

施設の概要

建築構造	鉄骨造 2階建て
建築面積	2,191.54平方メートル
調理能力	約6,000食/日
厨房方式	ドライシステム方式 ※調理室内の床を乾燥した状態に保つ方式。
配食学校	【小学校11校】 三原小、糸崎小、木原小、中之町小、西小、田野浦小、須波小、深小、南小、沼田東小、幸崎小 【中学校7校】 第一中、第二中、第三中、第四中、第五中、幸崎中、宮浦中



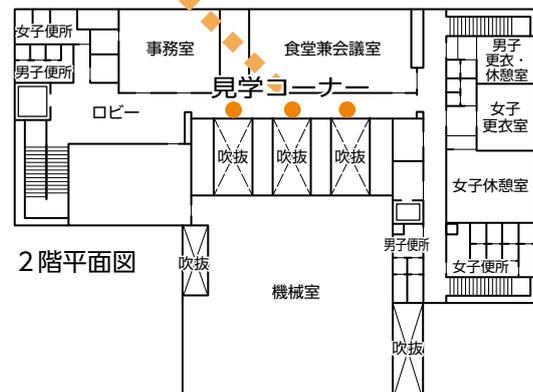
本格的に業務を開始！
東部共同調理場

1階平面図



今年3月から、東部共同調理場が本格的に業務を開始します。ここでは、この調理場の施設の概要などをお知らせします。

☎ 学校給食課
0848-680141



☎ 議会事務局
0848-676137
0848-634545

と き	内 容
10日(月)	本会議:開会
12日(水)	本会議:一般質問
13日(木)	本会議:一般質問(予備日)
14日(金)	常任委員会
18日(火) 21日(金)	
24日(月)	補正予算特別委員会
25日(火)	決算特別委員会
27日(木)	本会議:閉会

次の日程で、市議会の9月定例会が開催されます。市議会は公開しています。傍聴の受け付けは、会議当日、議会事務局で行います。

定員 本会議 45人
各委員会 5人程度

※いずれも定員を超えた場合は、入場できないことがあります。

市議会定例会の日程(予定)

新成人のつどい(成人式)の実行委員

とき 9月~12月の10回程度と式当日
ところ 城町庁舎(ペアシティ三原西館2階)ほか
内容 成人式の企画・運営の検討
会議への出席、式当日の運営など
募集人数 10人程度
応募資格 次のいずれかを満たす人
①成人式に出席する、平成4年4月2日~平成5年4月1日生まれの人
②5年以内に成人を迎えた人、または2年以内に成人を迎える人で、意欲のある人



申し込み 9月14日(金)(必着)までに、ファクスまたはEメールに、①現住所②名前③性別④生年月日⑤電話番号を記入し、青少年女性課(☎0848・64・9234 FAX0848・67・5912 seishonen@city.mihara.hiroshima.jp)へ



スポーツ教室の受講生を追加で募集

受付期間 3日(月)から定員に達するまで 8時30分~17時15分(土・日曜日、祝日を除く)
保険料 中学生以下=800円、高校生~64歳=1,850円、65歳以上=1,850円または1,000円
※ベビーとお母さんの3B体操は、親子で800円。

※今年度のスポーツ教室受講生は保険料不要。
申し込み 申込書(スポーツ振興課、各支所に用意)に保険料を添えて、スポーツ振興課各支所へ

☎スポーツ振興課 ☎0848・64・7219

Table with columns: 教室名, 期間, 曜日, 時間, 定員(申し込み先着順), 対象, 受講料, ところ. Lists various sports classes like water polo, badminton, volleyball, and aerobics.

一緒にまちづくりをしませんか 市職員を募集 [来年4月1日採用予定]

試験日・場所
▶第1次試験 10月14日(日)中央公民館
▶第2次試験 11月17日(土)市役所本庁(②③を除く)
▶第3次試験 12月15日(土)市役所本庁
受付期間 9月21日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く) 8時30分~17時15分(消印有効)

申込書の請求・提出先 三原市試験委員会(職員課内 〒723-8601港町三丁目5番1号)
※郵便で請求する場合は、宛先と希望職種を記入し、140円切手を貼った返信用封筒(33cm×24cm以上の大きさ)を同封してください。
※市ホームページから、試験要項・申込書を取得できます。

Table with columns: 職種(試験区分), 採用予定数, 受験資格(年齢は来年4月1日現在). Lists job categories like general administrative, technical, and childcare.

※一般事務職(上級)は、7月22日に実施した第1次試験を受験した人は受験できません。

☎職員課(市役所本庁3階) ☎0848・67・6025

第29回白竜湖ふれあいグリーンマラソン大会への参加者

とき 11月4日(日)10時~(雨天決行)
ところ 白竜湖スポーツ村公園(大和町和木)
種目

- ▶マラソンの部
①3km(小学生以上)
②5km(中学生以上)
③10km(高校生以上)
④20km(高校生以上)
※④のみ制限時間160分です。



▶ウォークの部
中学生以上1,000円、3歳~小学生500円
申し込み 9月14日(金)までに、申込用紙(スポーツ振興課、市内体育施設に用意)を白竜湖ふれあいグリーンマラソン大会実行委員会事務局(スポーツ振興課内☎0848・64・7219 FAX0848・67・5912)へ

▶ウォークの部
ふれあいウォーク4km(芋堀り・自然散策)
※家族・グループなど、誰でも参加できます。
参加費
▶マラソンの部
大人2,500円、高校生1,200円、小・中学生1,000円

運営ボランティアの募集

とき 11月4日(日)10時~14時
内容 参加者の受け付け、給水所の補助など
定員 10人(申し込み先着順)
申し込み 9月14日(金)までに、スポーツ振興課へ

三原シティカレッジ(市民講座)の受講生

受講料 無料

Table with columns: 講座名, 講師, とき, ところ, 定員. Lists a stress management lecture by Keio University professors.

申し込み Eメール、はがき、またはファクスに、①講座名②郵便番号・住所③名前(ふりがな)④職業(学年)⑤電話番号を記入し、県立広島大学三原キャンパス内三原シティカレッジ係(〒723-0053学園町1番1号☎0848・60・1120 FAX0848・60・1134 mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp)へ

けんみん文化祭ひろしま '12 民謡民舞の祭典

16(日) 10時30分～

ところ 芸術文化センター ポポロ
ホール

入場料無料

出演 県内各地区
から推薦された団体
観光文化課(☎084
8・67・6015)



芸術文化センター ポポロ

気軽にライブ PJO Live with 福本久記

23(日) 15時～

ところ ホワイエ

入場料無料

予定曲 バードランド、A列車で行こう、フライミートウ
ザムーンほか

出演 PJO(ポポロ・ジュニア・スウィング・オーケストラ)、土生達朗(指揮)、福本久記(サクソホン)



PJO(ポポロ・ジュニア・スウィング・オーケストラ) メンバー募集!!

PJOは、ポポロで誕生し活動しているビッグバンドです。市民音楽祭やイルミネーション点灯式での演奏に加え、福山ばら祭りや、せらチャリティーライブなど外部出演も増えてきています。

興味のある人は、気軽に見学に来てください。

募集パート トランペット、トロンボーン、ピアノ、ドラム
対象 募集しているパートの楽器を持っている人、またはレンタルが可能な人

参加費 2,000円/月

☎芸術文化センター ポポロ(☎0848・81・0886)

リージョンプラザ 100万馬カフェスティバル

23(日) 11時～19時



ところ 野外広場

内容 アマチュアバンドによる
ライブ、フリーマーケット、飲
食コーナーなど

☎100万馬カフェスティバル実
行委員会(☎0848・67・6755)

入場料無料

平成24年度優秀映画鑑賞推進事業 日本映画の巨匠 黒澤 明特集 世界のクロサワの傑作4作品を上映

27(木)～29(土)

ところ 文化ホール

27(木)

- 10時～ 生きる
- 13時～ 天国と地獄
- 16時～ 酔いどれ天使
- 18時～ 羅生門

28(金)

- 10時～ 天国と地獄
- 13時～ 生きる
- 16時～ 羅生門
- 18時～ 酔いどれ天使

29(土)

- 10時～ 生きる
- 13時～ 酔いどれ天使
- 15時～ 天国と地獄
- 18時～ 羅生門

入場料 前売り4回券
1,500円、当日1作品
鑑賞券:大人500円、高
校生・大学生300円
※中学生以下は無料。



生きる



▲天国と地獄



羅生門



▲酔いどれ天使

☎リージョンプラザ(☎0848・64・7555)

「平清盛の時代と瀬戸内海」展

3(月)～23(日) 10時～18時

ところ リージョンプラザ 展示ホール

内容 広島と平家との関わりや三原にちなんだ展示、
県重要文化財「紙本著色楽音寺縁起」絵巻の実物や厳
島神社の復元模型、
大河ドラマで使用
した衣装・パネルの
展示

入場料 300円
※高校生以下は無料。



関連講演会

22(土) 13時30分～15時30分

ところ 中央公民館

演題 平清盛の実像と瀬戸内海

講師 県立歴史博物館主任学芸員 鈴木康之さん

定員 100人(申し込み先着順)

参加費 300円

※講演終了後、「平清盛の時代と瀬戸内海」展の解説を行
います。

申し込み はがきかファクスを生涯学習課へ

第4回ひろしまの明日香村講座

30(日) 13時～15時

ところ 本郷生涯学習センター

演題 家形石棺と他界観

講師 立命館大学教授 和田晴吾さん

定員 50人(申し込み先着順)

参加費 300円

申し込み 21(金)までに、はがきかファクスを生涯学
習課へ

☎生涯学習課(〒723-0015円一町二丁目3番1号 ☎0
848・64・2137 ☎0848・64・0137)

宇宙の学校講演会

23(日) 13時～14時

ところ くい文化センター

入場料無料

演題 「はやぶさ」から未来へ——いま日本で生きること
講師 KU-MA(子ども・宇宙・未来
の会)会長 的川泰宣さん

対象 小・中学生とその家族

定員 150人(申し込み先着順)

申し込み 21(金)までに青少年女
性課へ

☎青少年女性課(☎0848・64・9234)



三原駅前市民広場のイベント

1(土)・2(日) 9時～
こつとう 骨董市&フリーマーケット

出店者の募集

出店料 1区画につき1,000円/日

申し込み 商工会議所へ

8(土) 8時～11時 軽トラ朝市

内容 地元の農産物の販売など

出店者の募集

定員 50店(申し込み先着順)

出店料 無料

申し込み 商工会議所へ

15(土) 10時～12時 子どもオリンピック

内容 竹馬、パットゴルフ

参加費無料

対象 小学生以下

☎商工会議所(☎0848・62・6155)、政策企画課(☎084
8・67・6011)

下水道の日ふれあいデー

8(土) 10時～16時

ところ 沼田川浄化センター(円一町一丁目)

内容 施設見学、ビデオ上映、微生物の観察など

※来場者には、花の球根や肥料など
をプレゼント。(先着順)

☎県下水道公社三原支所(☎0848・
67・6585)



三景園 観月会・夜間開園 夜の三景園で月を愛でる二日間

29(土)・30(日) 18時～20時30分

参加費 700円(飲み物付き)

※数寄屋風水上建築の潮見亭で、食事をしながらの観月
もできます。(1日25食限定、要予約)

☎三景園管理事務所(☎0848・86・9200)





やっさ祭り

やっさ、やっさ...祭り色に包まれた3日間
7千人の踊り手の笑顔があふれ、
三原の夜空を彩った5千発の花火
34万人が見守ったやっさ祭り閉幕――



生活情報 掲示板

人と動物のより良い関係をめざろう

20日(木)～26日(水)は

動物愛護週間

動物の特徴や習性を正しく理解し、必要なしつけや訓練を行い、責任をもって飼いましょ。★きれいな三原まちづくり条例により、次の行為は禁止・罰則の対象になります。

禁止行為

公共の場所での、飼い犬のふんの放置や放し飼い

罰則

5万円以下の過料

【啓発のぼり旗の貸し出し】

ペットのふん害などで困っている地域に、マナー啓発用のぼり旗を貸し出します。

対象

町内会、自治会など

問い合わせ先

生活環境課 ☎0848・67・6113



0848・67・6178

21日(金)～30日(日) 秋の全国交通安全運動

30日(日)は交通事故死

ゼロをめざす日です

交通安全ルールとマナーを守って安全運転を心掛けましょう。

問い合わせ先

生活環境課 ☎0848・67・6179

1日(土)～10日(月) 屋外広告物適正化旬間

屋外広告物(看板)を表示・設置する場合は、県屋外広告物条例に基づき、許可が必要です。

設置前に確認してください。

問い合わせ先

都市政策課 ☎0848・67・6113

市分譲地を販売します

①久井町羽倉1310番1(地目:宅地、面積:227.99㎡)

②久井町羽倉1310番4(地目:宅地、面積:552.73㎡)

申し込み

10日(月)までに管財課 ☎0848・67・6012へ

住宅用火災警報器の設置を

すべての住宅に火災警報器を設置することが義務付けられています。市の推計設置率は、

75.3%です。命を守るため、火災警報器を設置しましょう。

問い合わせ先

消防本部予防課 ☎0848・64・5927

国保の保険証を簡易書留で送付

現在交付している国民健康保険(国保)の保険証の有効期限は、今月末です。新しい保険証は、今月中旬に簡易書留で送付予定です。郵便受けに投函するのではなく、配達員から直接手渡しになります。

問い合わせ先

保険医療課 ☎0848・67・6050

ジェネリック医薬品による医療費削減報告

国保では、ジェネリック(後発)医薬品に切り替えた場合、自己負担の削減額が大きい人へ通知を行なっています。

3月分の削減効果

切り替えた人数 1,936人

削減された金額 339万6,486円

問い合わせ先

保険医療課 ☎0848・67・6050

就業構造基本調査に協力を

10月中旬まで

市内の約400世帯

調査方法

調査員の戸別訪問による質問、調査票の配布・回収

※調査員は必ず顔写真入りの調査員証を携行しています。

問い合わせ先

総務課 ☎0848・67・6022

フライトシミュレータ体験

画面上で10コースの飛行機操縦体験ができます。

ところ

広島空港旅客ターミナル2階 国内線出発ロビー

利用料

100円～200円

問い合わせ先

広島空港ビルディング ☎0848・86・8151

教室・講座

女性のための人材育成セミナー

男女共同参画について理解を深め、行動できる人材を育成するセミナーを開催します。

とき

9月27日(木)～10月25日(木)の木曜日(全5回)18時30分～20時

ところ

ゆめきやりあセンター1(館町二丁目)

内容

男女共同参画の概論、多様な価値観などについての講義やワークショップ

対象

市内に在住、または勤務している20歳以上の女性

定員

20人(多数の場合選考)

※3回以上の受講者は、市の審議会や委員会の女性委員登用候補者として登録します。

申し込み

9月21日(金)までに青少年女性課 ☎0848・64・9234へ

中山間地域活性化ワークショップ

中山間地域における活性化基本方針策定のため、自由に意見を交換する講座を開催します。

とき

23日(日)14時～16時

ところ

本郷生涯学習センター

定員

20人(申し込み先着順)

申し込み

13日(木)までに政策企画課 ☎0848・67・6011へ

男女共同参画推進条例 制定1周年記念講演会

30日(日)13時30分～15時

ところ

市民福祉会館

演題

支えよう 子育てと自分育て

講師

中央大学教授 広岡守穂さん、元石川県議会議員 広岡立美さん

定員

150人(先着順)

問い合わせ先

青少年女性課 ☎0848・64・9234

催し

よこみんさい市民ギャラリー (久美田三原西館2階)

○墨峰展 水墨画の作品展

とき 3日(月)～9日(日)10時～18時(3日は12時から、9日は16時まで)

○中国新聞文化センター三原・日本画教室作品展

とき 12日(水)～16日(日)10時～18時(16日は17時まで)

○老人大学・絵手紙コース作品展

とき 17日(月)～24日(月)9時～17時(17日は10時から、24日は16時まで)

○直美の部屋コンサート～前田有文子里帰り公演フルートとピアノとピアノの演奏～

とき 21日(金)14時～

○県高等学校総合文化祭 尾三地区展

とき 25日(火)～30日(日)10時～18時(25日は15時から、30日は15時まで)

入場料

いずれも無料

問い合わせ先

観光文化課 ☎0848・67・6015

山林や原野などの地番を変更します

広島法務局では、今年度から4年間かけて、市全域の山林や原野などの地番を順次変更していく予定です。

今年度の対象 登町、本町、沖浦町、宗郷町、鷺浦町向田野浦、鷺浦町須波、本郷町上北方、本郷町下北方、本郷町善入寺、本郷町船木、本郷町本郷、本郷町南方内の山林や原野など

変更方法 原則、地番に10000を加算(例:115番→10115番)、本郷町南方のみ20000を加算(例:211番→20211番) ※地番を変更した場合、登記簿に記録されている所有者宛てに通知書を送付します。 ※変更前の地番を住所としている場合、地番変更により変更後の地番が新しい住所になります。

問い合わせ先 広島法務局 ☎082・228・5741

普通救命講習会

9月9日(日)は救急の日

とき 9日(日)9時～12時

ところ 消防署、西部分署、北部分署

内容 心肺蘇生法(AED講習を含む)、止血法など

受講料

500円

申し込み 7日(金)までに、消防署消防課 ☎0848・62・2101、西部分署 ☎0848・86・2119、北部分署 ☎0848・22・3737へ

だるま制作体験教室

①だるま制作体験教室

とき 8日(土)～29日(土)の土曜日(全4回)10時～12時

②だるま面相書教室

※時間はいずれも9時～15時。

ところ サン・シープラザ(3階)

対象 18歳以上で、初級Ⅱパソコンに初めて接する人、中級Ⅱ体験したことがある人

パソコンにチャレンジ

とき エクセル初級Ⅱ10月10日(水)、ワード初級Ⅱ10月12日(金)、ワード中級Ⅱ10月26日(金)、インターネット初級Ⅱ10月28日(日)

ところ サン・シープラザ(3階)

対象 18歳以上で、初級Ⅱパソコンに初めて接する人、中級Ⅱ体験したことがある人

※時間はいずれも9時～15時。

ところ サン・シープラザ(3階)

対象 18歳以上で、初級Ⅱパソコンに初めて接する人、中級Ⅱ体験したことがある人

ライフプランニング講座

※時間は13時30分～15時。受講料 無料

とき	講座名	講師
9月15日(土)	うつ病への気づきとその対処方法	三原病院医師 藤本嘉子さん
10月6日(土)	認知症?うつ病?せん妄?～認知症と間違われやすい病気について～	小泉病院院長 山岡信明さん
10月13日(土)	統合失調症への援助について～病気とのつき合い方～	小泉病院診療部長 小野晴久さん
10月20日(土)	前向きに生きるコツ～今日から使える認知行動療法～	三原病院臨床心理士 中島美穂さん

申し込み先 社会福祉協議会 ☎0848・63・0570

とき 23日(日)14時～16時

ところ 城町庁舎(2階)

定員 各25人(申し込み先着順)

受講料 1,000円

申し込み 9月7日(金)までに希望する講座名(複数可)を保健福祉課 ☎0848・67・6236へ

やばい精神保健福祉講座

希望する講座名(複数可)を保健福祉課 ☎0848・67・6236へ

定員 各25人(申し込み先着順)

受講料 1,000円

申し込み 9月7日(金)までに希望する講座名(複数可)を保健福祉課 ☎0848・67・6236へ

「耳が聞こえない」方の快適な生活のために」講演会

とき 30日(日)13時～16時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 福祉サービス、便利情報、文字通訳の紹介など

※講演は文字通訳が付きまます。

問い合わせ先 ボランティア・市民活動サポートセンター ☎0848・67・9339

若者向け就活応援コース

適職探しや履歴書の作成、面接対策など就職活動を応援します。

とき 9月25日(火)～11月6日(火)の火曜日(全7回)13時30分～15時30分

ところ ゆめきやりあセンター1(館町二丁目)

対象 市内に住む15歳～40歳位の人の

申し込み先 社会福祉協議会 ☎0848・63・0570

とき 23日(日)14時～16時

ところ 城町庁舎(2階)

定員 各25人(申し込み先着順)

受講料 1,000円

申し込み 9月7日(金)までに希望する講座名(複数可)を保健福祉課 ☎0848・67・6236へ

「耳が聞こえない」方の快適な生活のために」講演会

とき 30日(日)13時～16時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 福祉サービス、便利情報、文字通訳の紹介など

※講演は文字通訳が付きまます。

問い合わせ先 ボランティア・市民活動サポートセンター ☎0848・67・9339

若者向け就活応援コース

適職探しや履歴書の作成、面接対策など就職活動を応援します。

とき 9月25日(火)～11月6日(火)の火曜日(全7回)13時30分～15時30分

ところ ゆめきやりあセンター1(館町二丁目)

対象 市内に住む15歳～40歳位の人の

申し込み先 社会福祉協議会 ☎0848・63・0570

とき 23日(日)14時～16時

ところ 城町庁舎(2階)

定員 各25人(申し込み先着順)

受講料 1,000円

申し込み 9月7日(金)までに希望する講座名(複数可)を保健福祉課 ☎0848・67・6236へ

「耳が聞こえない」方の快適な生活のために」講演会

とき 30日(日)13時～16時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 福祉サービス、便利情報、文字通訳の紹介など

※講演は文字通訳が付きまます。

問い合わせ先 ボランティア・市民活動サポートセンター ☎0848・67・9339

若者向け就活応援コース

適職探しや履歴書の作成、面接対策など就職活動を応援します。

とき 9月25日(火)～11月6日(火)の火曜日(全7回)13時30分～15時30分

ところ ゆめきやりあセンター1(館町二丁目)

対象 市内に住む15歳～40歳位の人の

申し込み先 社会福祉協議会 ☎0848・63・0570

とき 23日(日)14時～16時

ところ 城町庁舎(2階)

定員 各25人(申し込み先着順)

受講料 1,000円

申し込み 9月7日(金)までに希望する講座名(複数可)を保健福祉課 ☎0848・67・6236へ

「耳が聞こえない」方の快適な生活のために」講演会

とき 30日(

生涯学習講座

各講座は、申し込み先着順です。申し込み受け付けは、3日(月)10時からです。

講座名	とき	ところ	対象	定員	参加費	申込期限	申し込み先
カラーセラピー 色彩でわかるストレス解消色	12日(水) 10時~11時30分	大和文化センター	大人	15人	400円	6日(木)まで	大和文化センター (☎0847・33・1115)
初めてのそば打ち体験	12日(水) 10時~13時	中央公民館		16人	1,100円	7日(金)まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
気功体験講座	12日(水) 14時~16時	くい文化センター		20人	100円	10日(月)まで	くい文化センター (☎0847・32・7138)
大人の簡単日曜大工	14日(金) 13時30分~15時30分	本郷生涯学習センター		13人	1,600円	12日(水)まで	本郷生涯学習センター (☎0848・85・0701)
五感(音・色・香・味・触) リフレッシュ講座	19日(水) 10時~11時30分	中央公民館	大人	20人	600円	13日(木)まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
初めてのかぎ針編み エコなたわし作り	19日(水) 10時~12時			10人	350円	13日(木)まで	
プリザーブドフラワーで テーブルリース作り	21日(金) 10時~12時			各15人	1,600円	14日(金)まで	
尺八講座 簡単な曲を吹いてみよう	24日(月) 10時~12時			100円	20日(木)まで		
ビーズネックレス	24日(月) 10時~12時	久井公民館	15人	1,000円	7日(金)まで	久井公民館 (☎0847・32・7139)	
初級~中級者の 社交ダンス教室パートⅡ	29日(土) 13時30分~16時	中之町コミュニティセンター	大人	各20人	100円	26日(水)まで	中之町コミュニティセンター (☎0848・64・4099)
園芸教室 サイネリアを咲かせよう	30日(日) 10時~12時	南方コミュニティセンター			300円		南方コミュニティセンター (☎0848・86・4858)
自分で作ればもっとおいしいパン教室	30日(日) 10時~13時	久井南コミュニティセンター			1,000円		久井南コミュニティセンター (☎0847・32・6316)
旬の果物を使っておいしいジャム作り	10月5日(金) 10時~12時	船木コミュニティセンター			600円		船木コミュニティセンター (☎0848・86・6731)
パン作り	10月10日(水) 9時30分~14時	宮浦コミュニティセンター	各16人	1,600円	28日(金)まで	宮浦コミュニティセンター (☎0848・62・7944)	

図書館アラカルト

休館日 中央図書館=17日(月)、22日(土)
本郷・久井・大和図書館=火曜日、17日(月)、22日(土)

中央図書館(☎0848・62・3225)

- ねむの木 おはなしのひろば
とき 1日(土)・15日(土)11時~12時
- ぼけっといっぱいのおはなし会
とき 6日(木)11時~11時30分
- 虹の会 絵本のおみかたり
とき 8日(土)15時~15時30分
- 虹の会 0歳からのよみかたり
とき 21日(金)10時30分~11時、11時15分~11時45分
- 読書会
とき 24日(月)13時30分~15時
内容 『路上の人』堀田善衛/著
- 歴史・文化講座
とき 29日(土)10時~11時30分
内容 小早川 則平と外国貿易 一どこの港から出たのだろう?—
講師 広島民俗学会理事 榎 博自さん

本郷図書館(☎0848・85・0703)

- こんぺいとう おはなし会
とき 15日(土)14時~14時30分

ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

- おはなし会
とき 4日(火)10時30分~11時、8日(土)14時~15時

久井図書館(☎0847・32・7138)

- おはなし会
とき 29日(土)13時30分~14時

大和図書館(☎0847・33・1115)

- 絵本とおはなしの時間
とき 土曜日10時30分~11時

おすすめ本



『しごとば 東京スカイツリー』
鈴木のりたけ/作

今年5月に開業した東京スカイツリーを2年半の間取材した作者。タワーづくりに関わった人たちがどんな仕事をして、どんな工夫や苦勞をしたのか、詳しいイラストで教えてくれます。

市美術展覧会

とき 前期 絵画・デザイン)10月4日(木)~9日(火)、後期(彫刻・工芸・書・写真)10月12日(金)~17日(水)
※時間はいずれも10時~18時。
ところ リージョンプラザ
●作品を募集します
搬入日時 9月29日(土)10時~18時
搬入場所 リージョンプラザ
●公開審査を見学しませんか
とき 9月30日(日)14時~
ところ リージョンプラザ
※詳しくは、開催要項(観光文化課、各支所、市民ギャラリー、各公民館に用意)で確認してください。
問い合わせ先 観光文化課(☎0848・67・6015)

障害者スポーツフェスティバル

とき ①9月29日(土)②10月13日(土)9時30分
ところ ①本郷総合公園②リージョンプラザ
種目 ①ソフトボール②卓球バレー、吹き矢、水泳ほか
対象 障害のある人とその家族
申し込み先 社会福祉協議会(☎0848・63・0570)

0848・63・0599

障害のある人のふれあい合同就職面接会

とき 28日(金)13時~16時
ところ 福山ニューキャッスルホテル(福山市三之丸町)
申し込み先 ハローワーク三原(☎0848・64・8609)
0848・62・0134

募集

木造住宅の耐震改修費用を補助

耐震補強工事に係る費用の一部を上限40万円で補助します。
対象 昭和56年5月31日以前に着工された2階建て以下の木造住宅
募集棟数 2棟
※詳しい補助要件は、建築課へ問い合わせください。
申し込み 11月30日(金)までに
建築課 ☎0848・67・6122へ



宇宙の学校参加者追加募集

とき ①9月23日(日)②来年2月24日(日)13時~16時
ところ 久井保健福祉センター

内容 ①かさ袋ロケット②月の満ち欠けを観察しよう、閉校式

対象 市内に住む小学3~5年生とその保護者で、①②いずれも参加できる人

定員 30組(多数の場合抽選)
参加費 子ども一人につき1,000円

申し込み 9月14日(金)までに
青少年女性課 ☎0848・64・9234へ

文芸三原の原稿

募集期限 12月25日(火)まで
対象 小説、随想、俳句、川柳、短歌、詩、郷土史など未発表の作品
申し込み先 三原市文化協会(観光文化課内 ☎0848・67・6015)

自衛官

区分 ①防衛医科大学校生②防衛大学校生③看護学生
受験資格 来年4月1日現在①②18歳~20歳の人③18歳~23歳の人
※詳しくは、申し込み先に問い合わせください。
申し込み 9月3日(月)~10月1日(月)に自衛隊尾道出張所(☎0848・22・6942)へ

児童館へおいでよ!

申し込み先 児童館(☎兼用0848・67・1123)

ママチャレンジ

とき 12日(水)10時30分~11時30分
内容 ファーとリネンのコサージュ作り
対象 子育て中の母親
定員 15人 参加費 500円
※託児あり(要予約)。

親子ストレッチ

とき 19日(水)①10時~10時45分②11時~11時45分
対象 ①あんよができない子②あんよができる子
定員 各30組
参加費 無料



児童館フェスタ'12

とき 29日(土)10時~15時
ところ 児童館、市民福祉会館
内容 工作体験ラリー、コンサートなど
参加費 300円(工作体験ラリー)
※希望者は直接児童館へ。

後期クラブメンバーの募集

クラブ名	とき(10月~3月)	対象	定員	受講料
和・アートクラブ	第2・4水曜日 15時~	5歳以上	15人	3,000円
料理クラブ	第2日曜日 10時30分~13時	小学生以上	20人	2,500円

申し込み 11日(火)(必着)までに、往復はがきにクラブ名、住所、電話番号、名前(保護者・子)、年齢、学年を記入し、児童館(〒723-0014城町一丁目18番1号)へ
※応募は一人1回、1クラブのみ。 ※対象の年齢は、平成24年度中のもの。
※応募者多数の場合は抽選。詳細は、じどうかんだより9月号に掲載。

※いずれも申し込み先着順です。申し込み受け付けは、1日(土)10時からです。※月曜日は休館日です。



運動普及リーダーによる ウォーキング企画 運動し隊

〜高原の風7km健脚コース〜
とき 30日(日)9時〜12時

内容 吉田コミュニティホーム
(久井町吉田)〜野間川ダム〜
岩海の往復約7km

対象 完歩できる人

定員 20人(申し込み先着順)

参加費 100円

申し込み 21日(金)までに保健

福祉課(☎0848・67・60

53)へ

802055歯の表彰募集

対象 市内に住む80歳以上で、
自分の歯が20本以上(入れ歯
は除く)あり、過去に表彰を
受けていない人

募集期限 29日(土)まで

※応募は、市内の歯科医院で診
査・推薦を受けてください。

お問い合わせ先 保健福祉課(☎
0848・67・6061)

肺炎球菌予防接種に 補助金を交付します

対象 75歳以上で、肺炎球菌予
防接種の補助金を受けたこと
のない人

補助額 3,000円(上限)

申し込み 予防接種を受ける前
に、印鑑と保険証を持参し、

保健福祉課(☎0848・67・
6234)、または各保健福

祉センターへ

お問い合わせ先 保健福祉課(☎
0848・67・6061)

自殺予防対策講演会

とき 8日(土)13時30分〜15時
15分

ところ 芸術文化センターポ
ポロ ホール

演題 命に恋して

講師 作家 畑正憲さん

参加費 無料

申し込み 3日(月)までに高齢
者福祉課(☎0848・67・6

055)へ



お問い合わせ先 保健福祉課(☎
0848・67・6061)

参加費 無料

献血に協力を

◆7日(金)10時〜11時30分、12
時30分〜16時 フジグラン三
原(円一町二丁目)

◆10日(月)10時〜11時30分 大
和文化センター

お問い合わせ先 保健福祉課(☎
0848・67・6234)

介護予防講座 〜ウルトラ！げんき術〜

とき 4日(火)・14日(金)10時〜
12時

ところ 大和保健福祉センター

内容 運動栄養・口の健康を通
して、寿命を延ばす方法を

2日間で伝授

対象 65歳以上の人

定員 30人(申し込み先着順)

参加費 無料

申し込み 3日(月)までに高齢
者福祉課(☎0848・67・6

055)へ

認知症予防講演会

とき 29日(土)13時30分〜15時
30分

ところ 中央公民館

演題 認知症は自分で防ぐ

講師 浜松早期認知症研究所・
金子クリニック院長・金子満

雄さん

定員 150人(申し込み先着
順)

お問い合わせ先 保健福祉課(☎
0848・67・6055)

申し込み 19日(水)までに保健
福祉課(☎0848・67・60

61)へ

健康相談

とき 20日(木)13時15分〜15時
15分

申し込み 19日(水)までに保健
福祉課(☎0848・67・60

61)へ

こんにちは 高齢者相談センターです



もしかして虐待?

高齢者虐待は、高齢者の心身に深い傷を負わせ、人権の侵害や尊厳を奪う行為のことをいいます。意図的であるか、結果的であるかに関わらず、介護の放棄・放任といったことも虐待に含まれます。長期間の介護は家族に大きな負担がかかるため、知らず知らずのうちに虐待を行なっている場合があるかもしれません。

「もしかしてこれは虐待?」、「介護疲れでストレスがたまってどうにかしたい」などの悩みは一人で抱え込まず、まずは気軽に高齢者相談センターへ相談してください。

高齢者相談センター 三恵苑 中村綾香

高齢者虐待防止講演会

とき 10月19日(金)13時30分〜
15時30分

ところ 中央公民館

演題 正々堂々!がんばらない
介護

講師 野原すみれさん

定員 150人(申し込み先着
順)

申し込み 19日(水)までに保健
福祉課(☎0848・67・60

61)へ

いろいろのなんでも相談

とき 21日(金)13時30分〜15時
30分

ところ サン・シープラザ(4階)

定員 2人(申し込み先着順)

相談料 無料

申し込み 19日(水)までに保健
福祉課(☎0848・67・60

61)へ

家庭児童相談室を利用してください



相談料
無料

家庭児童相談員(児童福祉司)が、相談・専門機関の紹介を行なっています。

とき 月～金曜日(祝日・年末年始を除く)9時30分～16時

※第4水曜日は要予約。

ところ 家庭児童相談室(サン・シープラザ3階)

内容 子ども(18歳未満)の発達・行動・生活について、療育手帳に関すること、家庭の諸問題についてなど

問い合わせ先 家庭児童相談室(☎0848・61・0121)

子育て支援センターでの子育て相談

- ①18日(火)10時～11時 あやめが丘保育園(沼田西町惣定)
- ②19日(水)10時～11時 本郷ひまわり保育所(下北方二丁目)
- ③21日(金)10時～11時 のぞみ(紅梅保育所北側、西野三丁目)
- ④27日(木)10時～11時 チェリッシュ(さくら保育園内、宮浦六丁目)

子育て応援



内容 身体測定、育児・栄養・歯科相談、遊びの広場

対象 乳幼児とその保護者

用意する物 母子健康手帳

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

子育て支援サロン

とき 火・木曜日10時～12時、13時～16時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 ふれあい遊び、絵本や遊具遊び、子育て相談など

対象 乳幼児とその保護者

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

子育て応援相談

とき 火・木曜日10時～12時、13時～16時

13時～15時

ところ サン・シープラザ(3階)

内容 乳幼児の発達や子育てに関する相談など

対象 乳幼児の保護者

※事前に予約が必要です。

申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6359)

子育て講演会

とき 15日(土)13時30分～15時

ところ 本郷生涯学習センター

演題 絵本による生命(いのち)の授業

講師 絵本作家・シンガーソングライター こんのひとみさん



定員 500人(先着順)

※託児も可能です。(要予約)

問い合わせ先 子育て支援課(☎0848・67・6042)

チャイルドタッチケア

とき ①6日(木)②7日(金)10時30分～11時30分

ところ 中央公民館

対象 ①1歳児②2歳児とその保護者

定員 各10組(申し込み先着順)

参加費 300円

申し込み 5日(水)までに生涯学習課(☎0848・64・2137)へ

祝日の小児科救急当番医院

◆17日(月)9時～12時30分、14時～16時

ところ わきた小児科(宮浦六丁目)(☎0848・67・7999)

◆22日(土)9時～12時、14時～16時30分

ところ 興生総合病院(円一町二丁目)(☎0848・63・5500)

マタニティスクール

とき 20日(木)10時～15時

ところ サン・シープラザ(3階)

内容 妊娠・出産についての話、栄養講座、調理実習など

用意する物 母子健康手帳、エプロン、三角布、ハンドタオル、米1/2合、飲み物

定員 15人(申し込み先着順)

申し込み 18日(火)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ

親子ストレッチ

とき 10月3日(水)10時30分～11時30分

ところ 宮浦コミュニティセン

ター

対象 1歳～未就園児とその保護者

定員 15組(申し込み先着順)

参加費 100円

申し込み 28日(金)までに宮浦コミュニティセンター(☎0848・62・7944)へ

ポリオ予防接種が不活化ワクチンに変わります

ポリオ予防接種が生ワクチンから不活化ワクチンに変わります。

ところ 予防接種実施医療機関

対象 生ワクチン未接種、または1回接種済みの3カ月～7歳5カ月児

接種回数 生ワクチン未接種の人Ⅱ不活化ワクチン4回、1回接種済みの人Ⅱ不活化ワクチン3回

申し込み 生ワクチンの接種券、予診票、母子健康手帳、住所が確認できる物を持参し、医療機関へ直接予約

※市外で接種する人は、生ワクチンの接種券、予診票、母子健康手帳、印鑑を持参し、事前に各保健福祉センターで手続きをしてください。

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6234)

23 広報みはら 平成24年9月号

力をあわせて 市民協働のまちづくり ③③



市民提案型の協働事業

あいさつ運動、防犯活動を通して子どもの健全育成を

本郷・小中学生を支える会は、地区の児童や生徒の健全育成を目的として、平成21年から活動を行なっています。



▲さわやかなあいさつが響き渡っていました

この団体から、登校時のあいさつ運

動や交通安全指導、青色回転灯を搭載した車での下校時巡回パトロールなどにより、地域の子どもたちを健全に育成する事業の提案を受けました。

今年7月、夏の交通安全運動の開始に合わせて、本郷地域内の4つの小・中学校、高等学校で、あいさつ運動や交通安全指導を行いました。児童や生徒は、自ら進んで気持ちのよいあいさつをしていました。

地域の人や三原警察署の職員、市職員なども多数参加し、市民が主体的にまちづくりに参加した協働の取り組みとなりました。

問い合わせ先 まちづくり推進課 ☎0848・67・6184、学校教育課 ☎0848・67・6155

市民提案型の協働事業

みらい子育てネット・みはらからの提案

ベビープログラム

話して楽しい！ 知って得するしつけのあれこれ♪

とき 11月7日(水)～28日(水)の水曜日(全4回)13時～15時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 ふれあい遊び、乳児期に必要な基礎知識の学習など

対象 2～6カ月の第一子とその母親

参加費 無料(別途テキスト代840円が必要)

定員 20組(申し込み先着順)

申し込み先 児童館 ☎☎兼用0848・67・1123



きらっと☆宇根山天文台 ⑨

流れ星と火球

暗闇に光る一筋の光、流れ星は、惑星同士がぶつかってできた星のかけらなどの流星物質が地球に向かって落ちてくる途中、大気との摩擦で光を放つ現象です。中でも特に明るいものを火球といいます。

通常の流れ星は、一瞬で流れてしましますが、まれに消滅後に痕跡を残すものもあり、長いもので数秒から数分に及ぶものもあります。また、大部分の流星物質は、大気中で消滅しますが、大きいものは隕石となって地上に落下することもあります。

今年は、11月17日(土)にしし座流星群で、12月13日(木)にふたご座流星群で流れ星を見ることができます。

宇根山天文台で流れ星に願いを込めてみませんか。



▲どの惑星よりも明るい流れ星といわれている火球

中秋の名月観望&しの笛演奏会

とき 30日(日)18時～22時

内容 月の観望、しの笛演奏会(19時～)

入館料 大人310円、中学生・高校生210円、小学生100円、小学生未満 無料

※希望者は直接会場へ。

問い合わせ先

青少年女性課 ☎0848・64・9234
宇根山天文台 ☎0847・32・7145

性別に関わりなく、認め合い、協力し合える社会をつくっていきましょう。

人権標語 平成24年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ優秀作品

共に働き 共に生きる ニッポンのチカラ

くらしの無料相談窓口

相談日などは、変更する場合があります。事前に確認してください。

相談の種類	と き		と ころ	申し込み・問い合わせ先
三原市法律相談	①21日(金)②28日(金) ※いずれも要予約。受け付けは5日(水)8時30分から。	13時～16時	①中央公民館 ②久井支所	生活環境課 (☎0848・67・6178)
弁護士法律相談	12日(水)・26日(水) ※いずれも要予約。収入による利用条件があります。	10時～16時	広島地方裁判所尾道支部内(尾道市新浜一丁目)	広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237)
司法書士法律相談		12時～15時	電話相談 広島相談センター(☎082・511・7196)	
法的トラブルの解決法・窓口の案内	17日を除く月～金曜日	9時～17時	電話相談 法テラス広島(☎050・3383・5485)	
消費生活相談	17日を除く月～金曜日	9時～12時、13時～16時	市役所本庁(5階) ※電話相談も可。	消費生活センター (☎0848・67・6410)
消費生活巡回相談	14日(金)・21日(金)・28日(金) ※要予約。	14時～16時	本郷支所・久井支所・大和支所	
消費者トラブル無料相談会	12日(水)※要予約。	13時～16時	サン・シープラザ(4階)	商工振興課 (☎0848・67・6072)
若年者向け就職相談	17日を除く月曜日※要予約。	12時～17時	サン・シープラザ(3階)	青少年女性課 (☎0848・64・9234)
	火～木曜日※要予約。	10時～15時	若者サポートステーション(港町一丁目)	商工振興課 (☎0848・67・6072)
学校生活・勉強などの悩み相談	17日・22日を除く月～土曜日	9時～17時45分(土曜日は8時30分～17時15分)	リージョンプラザ ※電話相談も可。	三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201)
学校生活の悩み・体罰などの相談	17日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 三原子どもサポートダイヤル(☎0848・67・6173) ※時間外は、留守番電話で対応。	
児童虐待通告窓口	毎日	24時間	電話相談 子育て支援課(☎0848・67・6088)	
家庭児童相談	17日を除く月～金曜日 ※26日(水)は要予約。	9時30分～16時	サン・シープラザ(3階)	家庭児童相談室 (☎0848・61・0121)
女性相談	17日を除く月～金曜日			女性相談室 (☎0848・61・0122)
認知症相談	火・木曜日	13時～16時30分	電話相談 県地域包括ケア推進センター (☎082・254・3434)	
成年後見専門相談	13日(木)※要予約。	14時～16時	サン・シープラザ(3階)	
障害者なんでも相談	5日(水)	10時～12時	久井保健福祉センター	障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359)
	14日(金)		大和保健福祉センター	
	19日(水)	14時～16時	本郷福祉センター	
心配ごと相談	火・金曜日	13時～16時	サン・シープラザ(3階)	社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570)
	水曜日		本郷福祉センター	(☎0848・86・3607)
	5日(水)・19日(水)	9時～12時	久井保健福祉センター	(☎0847・32・7101)
	7日(金)・21日(金)		大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)
	14日(金)・28日(金)		大和保健福祉センター	(☎0847・34・1214)
人権相談	火・水・金曜日、13日(木)	10時～16時 (13日は13時から)	サン・シープラザ(3・4階)	人権推進課 (☎0848・67・6044)
	17日を除く月・木曜日	10時～16時	市役所本庁(4階)	
	17日を除く月～金曜日		電話相談 法務局常設電話相談所(☎0570・003・110)	
女性の人権相談	17日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 女性の人権ホットライン(☎0570・070・810)	
子どもの人権相談			電話相談 子どもの人権110番(☎0120・007・110)	
交通事故・民事・家事相談	17日を除く月～金曜日	9時～12時、13時～16時	電話相談 県生活センター(☎082・223・8811)	
暴力団関係相談		8時30分～17時	電話相談 暴力追放広島県民会議(☎082・228・5050)	
登記相談	19日(水)	13時～16時	市役所本庁(1階)	広島法務局尾道支局 (☎0848・23・2882)
法務局休日相談	23日(日)	10時～15時	サン・シープラザ(4階)	
不動産相談	13日(木)・27日(木)	10時～15時		
療育・教育相談	3日(月)・24日(月)	13時～16時	サン・シープラザ(3階)	社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)
行政相談	21日(金)			
水防・災害対策本部専用電話			(☎0848・67・6868 ☎0848・67・6164)	



Photo
カメラ散歩
Walk

①～⑥三原に瀬戸内の海の幸が集結。広島県おいしい委員会 タコ部会長でタレントのクロちゃんをはじめ、タコのPRで連携の明石市から泉市長も駆け付け、会場を大いに盛り上げました(7/28・29 みなとオアシスフェスティバルin三原 三原駅前市民広場)
⑦⑧ナウマンゾウの化石標本などの展示や自衛隊艦船の一般公開などが行われ、多くの家族連れでにぎわいました(7/14～29 海フェスタ リージョンプラザほか)

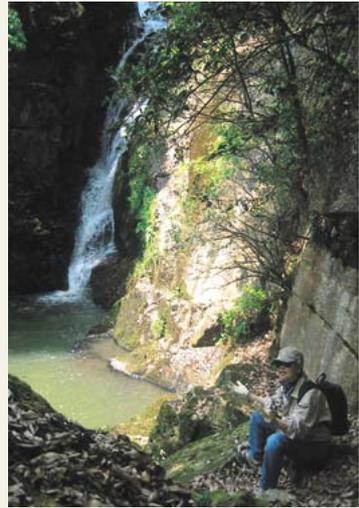
⑨手綱さばきも堂々と、小学1年～中学2年生の18人が乗馬を体験(8/21 子ども乗馬体験 苅谷乗馬クラブ)
⑩誰が一番早いか、よーいドン!説明書を片手に試行錯誤しながら、ペットボトルソーラーカーを作りました(8/8 夏休みものづくり塾 ゆめきやりあセンター)
⑪坂本龍一さんが、オーケストラの歴史や楽しみ方を解説(7/29 坂本龍一MIHARA音楽の学校 芸術文化センター ポポロ)

📷 児玉勝昭さん 📅 平成24年8月
 📍 所 道の駅「みはら神明の里」(糸崎四丁目)



📷 森平康則さん 📅 平成24年8月
 📍 所 久井町

📷 住岡恵美子さん 📅 平成24年5月
 📍 所 高坂町



📷 松附基さん 📅 平成24年7月
 📍 所 糸崎沖(海上)



投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 10日(月)(必着)
 応募資格 市内に在住か通勤・通学の人
 選考 総務課で選考
 ※投稿写真の著作権は市に帰属します。
 ※広報誌への掲載は、年度につき原則一人2回までです。
 ※投稿写真の返却は行いません。

※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載します。
 申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 📧soumu@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲受診者にゼリーなどを勧める山口龍子さん(左)と東田明子さん

夏場に健診が行われることから、のどごしが良く、食べやすいゼリー系のものを作るようになったそうです。「限られた時間の中で、たくさん作れて体に良いものを」と、毎回会員で知恵を絞ります。

今回は約600人分を作りました。毎年違うものを2種類用意し、「若者から高齢者まで幅広い年齢層に好まれ、また、選んでもらう

楽しさもあります」と語ります。「いろいろな料理に使うことができ、添加物のない良いものを」と材料にもこだわります。

食べ終わった容器を回収しながら、関心のある人には作り方を書いたりお話を渡すほか、何気ない会話の中でさりげなく栄養指導も行います。

支部長の信行久枝さんは、「毎年楽しみにされている人もいて、活動の成果を実感しています」と話します。

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・676053)



▲甘さ控えめ、カルシウムたっぷりのゼリーを食べる受診者たち

みんなでチャレンジ

食育¹⁸



食育推進キャラクター「そだっち」

健診後の体をいたわるゼリーの材料にこだわり

今回、紹介するのは集団健診における食生活改善推進員大和支部(会員28人)の活動です。

「健診は、終わられましたか」と笑顔で声を掛け、受診者にゼリーなどを手渡す会員の皆さん。今回用意したのは、カルシウムたっぷりのスキムミルクちゃんとごまゼリーの2種類です。

約10年前、朝食を抜いて受診する健診者に、少しでも空腹を満たしてもらおうと始めた活動。以前は、クッキー

スキムミルクかん



●材料(1人分)

粉寒天2g(水200CC)、スキムミルク30g(水100CC)、砂糖30g、バニラエッセンス少々

●作り方

- ①水200CCと粉寒天を鍋に入れ、火にかけ、煮溶かす。
- ②寒天が溶けてから、さらに2分ほどよくかき混ぜ、砂糖を入れる。
- ③水100CCで溶いたスキムミルクを②へ加え、バニラエッセンスを振り掛ける。
- ④器に入れ、冷蔵庫で冷やし固めて出来上がり。

あ・と・が・き

東 日本大震災の発生から1年半が過ぎようとしています▼今年の子どもやっさくに被災した岩手県大槌町の小学生14人が参加しました。児童を受け入れた家族の一人は、「家も手狭でどうしようかと迷ったが何かお役に立てれば」とホームステイ先に応じました。この事業は「夏の最高の思い出に」と三原青年会議所が企画したものです▼今月の特集では、防災について、地域や学校などでの取り組みを紹介しています。「何かお役に立てれば」の気持ちで再度、自分のできることを考えてみたいと思います。(A)

三原市の人口(7月31日現在)

世帯数	43,767	世帯	(-91)
人口	100,620	人	(-1,079)
男	48,072	人	(-597)
女	52,548	人	(-482)

※外国人登録を含む。
※()内は前年同月との比較。

税などの納期(普通徴収)

○国民健康保険税(第3期)
○介護保険料(第3期)
○後期高齢者医療保険料(第3期)
納期限 10月1日(月)
夜間収納窓口(19時まで)
6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)

航空機の騒音測定結果(7月分) (WECPNL)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=62.3 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=63.4